

ゴールデンウィークに 渡航される皆さまへ!



海外には日本にない病気がたくさんあります。海外に出かけるときに注意してほしい感染症や予防対策についてお知らせします。

★ 出発前には、渡航先で流行している感染症などを確認しておきましょう。
厚生労働省検疫所サイト: 「FORTH」で検索!

★ 旅行中は無理のないスケジュールを心がけ、楽しい旅行にしましょう。

★ 帰国時・帰国後に具合が悪くなったら早めに医療機関を受診し、渡航先などの情報を必ず伝えてください。

麻しん(はしか)に注意しましょう!

- 海外で感染して日本国内へ持込み、感染の広がる事例が多く報告されています。
- 感染予防には、予防接種が有効です。効果を確実にするために2回接種が必要です。なお、定期予防接種は、1回目は1歳児、2回目は小学校入学前1年間に受けられます。定期予防接種以外で希望する方は、かかりつけの医師にご相談ください。

蚊やマダニが媒介する感染症 デング熱、ジカウイルス感染症、マラリア、クリミア・コンゴ出血熱、ライム病など

- 蚊やマダニに刺されることで感染するため、野外活動の際には、長袖・長ズボンを着用するなどして肌の露出は避け、虫除け剤を使用するなど注意をしましょう。

動物からうつる感染症 鳥インフルエンザ、狂犬病、エボラ出血熱、MERSなど

- 野生動物や家畜は、危険な感染症の病原体を持っている可能性があります。
- 海外では、むやみに動物に触らないようにしましょう。

水や食品からうつる感染症 A型肝炎、E型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど

- 上下水道やトイレの整備が不十分な地域では、水や食品が病原体に汚染されていることがあります。
- 生水を飲まないようにしましょう。氷や生野菜、カットフルーツは避けましょう。
- 生鮮魚介類や生肉などは食べずに、十分に加熱された物を食べましょう。

★詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください:

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html